

# 一般質問

齋藤 眞一 議員



## 治水対策について

**問** 町の治水対策として私が見る限り、非常に西山地区が荒れていると感じている。西山地区には一級河川の石子沢川、不動沢川もあり、過去には石子沢川でも災害が発生している。そうした災害を減らし、その結果に基づいた町の対応や局部豪雨時における災害発生への対応策をどのように考えているのか。

また、災害時における弱者対策として、組織化されていない自主防災組織をいち早く立ち上げていただきたい。

**答** 町の西部地区には豊田から長崎地区へ流下する石子沢川水系や、不動沢川水系の中小河川、それから小渓流が多く存在しています。近年のいわゆるゲリラ豪雨の発生などを考えると、水源地域における山間山地の荒廃の進展によって、土砂崩れ等に伴う異常出水発生の認識を持つことは危機管理上、特

に必要なと考えています。県の担当部局と連携を取りながら、現状の把握に努めていきます。

諸啓発については新基準に基づく新たな中山町洪水ハザードマップを製作中であり、4月中旬までに全戸配布し、自主防災組織の充実に努めていきます。災害発生が想定されるような事態となった場合には、「中山町避難勧告等判断・伝達マニュアル」や「災害時要援護者避難支援プラン」に基づいた運用を図るほか、支援体制を実施してまいります。

堀川 政美 議員



## ① TPP（環太平洋経済連携協定）と中山町の産業の将来について

**問** TPP（環太平洋経済連携協定）については、農業団体等が TPP 参加に強く反対している。町議会でも反対決議を表明し、その動向を注視している状況だが、連日マスクミ等の報道を見ると、非常に危険な状況下にあると思っている。特に農業に関しては、国の基幹産業でもあり、町の主要産業でもある農業は、TPP が実施されれば、米の9割が外国産に入れ替わることが試

算されており、壊滅的な影響を受け、生活基盤も根底から崩れ、町の運営も危機にさらされると考える。

今後の TPP の展開に対する、町としての考えや TPP が実施された場合、町の農業と商工業の生産に与える影響をどう考えているのか。また次年度における産業（農業及び商工業）の目玉的な事業、予算措置はあるのか。

一方で、農業などの将来を先取りすることも考えるべきであり、新たな雇用を生み出し、今後の地域経済の発展、活性化を図るためにも第6次産業は重要なものになることは間違いない。そこで町では将来に向かっての検討、開発を育成していく構想があるのか。

**答** TPP 参加については米や小麦、牛肉等を抱える農業分野では農業団体等から強い反発の意見が出されていますが、一方で参加による輸出拡大や経済活性化を期待し、交渉に参加すべきとの意見も出され、いまだに国民的理解、合意も得られない状況です。こうした現状ですので、町としてまだ判断できる状況にはありませんが、町民生活全般にわたる影響、稲作を中心とした果樹との複合経営を基幹とする当町の農業経営への影響が懸念されます

ので、今後とも国政、国民議論の方向を見定めながら対応してまいります。

産業関係の育成繁栄に繋がる事業ですが、これまでの各種振興施策を継続支援するとともに、新たに果樹農業における高齢化の進展や耕作放棄地の増加に対応して、生産基盤の整備を図るとともに、収益性が高く市場性の高い優良品種への更新を進め、農業経営の安定向上に資するため、平成24年度から町単独事業での果樹の新植、改植事業への支援を行います。

また、6次産業と言われる事業展開を行っている方が町でも数名取り組んでいると認識しています。今後、こうした意欲ある方へは国、県事業の紹介を行うとともに、個別事業について町としてどのような支援が行えるのか検討していきますが、町として総合的な構想は持っておりません。

## ② 「町民の健康増進と活気の出るまちづくり」について

**問** 人の元気は町の元気。特に定年を迎えた団塊の世代の増加により、65歳以上の老年人口の割合が、当町では3,341人、28%にもなっている。さらに平成32年度に

は、推計人口で3,860人、32%にも達すると試算されている。町民のほぼ3割に近い方々が65歳以上であり、この世代が元気になれば、町も元気になると思われる。

町民の健康増進、活気が出るまちづくりと高齢者の元気の出るまちづくり、生きがいづくりについて、今後、どのように取り組まれていくのか、具体的方策があればお聞きしたい。

**答** 当町の65歳以上の高齢者人口は毎年増加し、この高齢化率は今後とも上昇するものと見込まれます。

65歳以上の高齢者が健康でいきいきと生活していただくことが、町の活性化に繋がるものと考えており、そのためには、心身ともに健康であることが不可欠です。各種健診の受診による健康管理や健康教育、余暇を活用したボランティアや生涯学習等の生きがい活動、地域活動への参加、更には就労意欲のある方についてはシルバー人材センターの活用による社会への積極的な参加などが大切であると思っています。

高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進に向け、諸事業を実施していきますが、特に人気の高い「るんるん貯筋体操教室」については、今

後、必要に応じて拡充の検討を行いたいと考えています。また各地区の老人クラブ等が自主的に開催している「お茶飲みクラブ」については社会福祉協議会や老人クラブ連合会などと連携しながら、各地区での開催回数や参加範囲等の拡大を図るよう働きかけを行ったり、介護予防体操や軽スポーツの指導者の派遣などの支援を行っていききたいと考えています。

鎌上 徹 議員



## ① スポーツ・その他活動での東北・全国大会出場を祝う垂れ幕設置を

**問** 近隣の市町村では中学校や町体育館等に各種大会出場祝いに對する、祝いの垂れ幕が掲げられており、わが町の子どもたちはこんなに頑張っていると言わんばかりである。その垂れ幕を見るたび、この学校、この地区では、スポーツや文化活動に一生懸命力を入れていると感じさせられる。しかし、当町では、体育館等に簡易に自作されたポスターや拡大コピーし作成されたものが掲示されているのが現状である。

スポーツ少年団、中学校の部活動、これら活動において、地区の大会を勝ち進み、県大会においても優秀な成績を収め、東北大会、全国大会に出場する子ども達の健闘を称え、またスポーツだけではなく、吹奏楽等の文化活動等でも出場する子ども達の意識の向上、町民への広報のためにも、祝いの垂れ幕等を是非設置していただきたい。

**答** 町では社会体育の振興の一環として、優秀な選手や団体を育成するために指導者の育成や支援事業、また全国大会出場など優秀な成績を収めた選手や団体への激励金の支給や表彰なども行っています。

また町の総合体育館入口に、東北大会や全国大会に出場した選手・団体の名前を自作のポスターを張り出して激励をしています。一時その掲示を見合わせていたこともありましたが、町では、社会体育の啓発と優秀な選手の育成の意味からも、名前を掲示して激励することが必要と考えており、今後は町の激励金支給の対象となった全国大会へ出場する選手や団体について、町の総合体育館に看板設置場所を作り、名前を掲示したいと考えています。また、文化活動の成果についても、当面は小学生を対象に考えています。

## ② 新中山町立図書館運営について

**問** 図書館の運営について、外部委託を検討しているとの事であったが、その場合の町職員と委託会社の人数構成、業務の分担、年間の委託料、図書館の維持費等は、どの程度を見込んでいるのか。

また、サポーターの名称でボランティアを募集しているが、サポーターの仕事内容等はどうなるのか。図書館には会議室が設置されるが、中央公民館の会議室との使い分けはどのように考えているのか。

近隣の町村の中でもこれほどの規模を持った図書館はないと思っているが、図書館としてだけでなく、できるだけ多くの町民に使っていただくために、例えば、簡易の学童施設などは考えられないか。

**答** 中山町立図書館は、いつでも、誰でも、気軽に利用出来る「開かれた図書館」をコンセプトとして、4月30日の開館を目指して準備を進めております。

新しい図書館は、面積や蔵書数も増え、運営形態も運営方法も大きく変わるとともに、「図書館だより」の発行やブックスタート事業、読み聞かせの行事など、図書の情報